



コスモスフェスティバル(富来田地区)

9月定例会

平成18年度木更津市歳入歳出決算の認定についてなど

18議案を可決

9月市議会定例会は、9月4日から28日までの25日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から提出された一般会計補正予算など17議案及びアクアライン値下げ社会実験要請に関する発議案1議案の合計18議案が審議され、可決・同意・認定されました。また、13人の議員が4日間にわたり一般質問(代表質問・個人質問)を行いました。

本会議の経過

初日 9/4

今定例会の会期を9月28日までの25日間と決定した後、例月出納検査の結果などに関する諸報告が行われました。

次に、市長提出議案17件(議案第54号、第70号)と陳情1件が上程され、提案理由の説明が行われました。

2日目 9/6

専決処分報告の後、3人の議員が、市政に対する一般質問(代表質問)を行い、市当局の見解や方針をたしました。

また、台風9号の接近に伴い、3日目以降の日程を変更することとしました。

3日目 9/10

専決処分の報告の後、4人の議員による一般質問(代表質問1人・個人質問3人)が行われました。

4日目 9/11

5人の議員による一

9月定例会の日程

日程	議事の内容
9月4日(火)	本会議(諸報告 議案等上程) 特別委員会(合併調査 基地対策)
6日(木)	本会議(諸報告 一般質問 議事日程の変更について)
10日(月)	本会議(一般質問)
11日(火)	本会議(諸報告 一般質問)
12日(水)	本会議(一般質問 議案の大綱質疑 決算審査特別委員会の設置及び議案等付託)
13日(木)	常任委員会(経済環境 総務)
14日(金)	常任委員会(建設 教育民生)
18日(火)・20日(木)	決算審査特別委員会
28日(金)	本会議(議案等審議 議員派遣について 諸報告 発議案上程・審議)

紙面ガイド

- 1面 本会議の日程と経過
- 5-2面 一般質問と答弁の概要
- 5面 決算認定について及び委員会の動き
- 6面 議案等の内容及び議決結果

一般質問(いずれも個人質問)が行われました。

議案5件(議案第54号・第58号・第59号・第67号・第68号)

前日に引き続き、1人の議員による一般質問(個人質問)が行われ、質問終了後、決算関係議案や補正予算関係議案など議案12件(議案第54号、第60号、第65号、第68号、第70号)について大綱質疑が行われました。

決算審査特別委員会:議案2件(議案第60号・第70号)

最終日 9/28

続いて、決算審査特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。その後、議案12件及び陳情1件を、次のとおり所管委員会へ付託することとしました。なお、一般会計補正予算に関する議案は、補正内容別に所管委員会へ分割付託され、詳細に審査されました。

この結果、委員長報告どおり原案可決10件(議案第54号、第59号、第65号、第68号、認定2件(議案第60号・第70号)、不採択1件(陳情第5号)と決定しました。

総務常任委員会:議案1件(議案第54号)
経済環境常任委員会:議案1件(議案第54号)
教育民生常任委員会:議案6件(議案第54号、第57号、第65号、第66号)、陳情1件(陳情第5号)
建設常任委員会:

最後に、例月出納検査結果の報告後、議員発議案1件(議案第11号)が上程され、委員会付託を省略し審議した結果、原案どおり可決され、9月定例会の全日程を終了しました。

9月定例会 一般質問と答弁の概要

代表質問 4人
個人質問 9人

9月定例会では、13人の議員が市政に対する一般質問(代表4人・個人9人)を行い、大綱39点・176項目にわたり市当局の見解や方針などをいただきました。
紙面には、各議員の質問趣旨(大綱)と、質問議員が選択した大綱1点について質問と答弁の概要を掲載しました。
なお、本会議の全容を記録した会議録は、行政資料室・図書館・公民館などで閲覧することができます。また、インターネットによる、検索・閲覧も可能です。



代表質問

フォーラム未来代表	三上 和俊 議員
正 栄 会 代 表	前田 清治 議員
公 明 党 代 表	西 勝義 議員
新 栄 会 代 表	橋口 武信 議員

個人質問

國吉 俊夫 議員	近藤 忍 議員	篠崎 哲也 議員
佐藤多美男 議員	山形 誠子 議員	高橋てる子 議員
斉藤 高根 議員	白坂 英義 議員	大野 俊幸 議員

フォーラム未来代表 三上 和俊 議員
平成20年度予算編成方針について
交流・連携の拠点づくり
農林水産業の振興について
学校教育の充実
快速で住みよい環境づくり

8月に総務省から、公的資金補償金免除線外償還に関する通知が出された。本制度は、全国の自治体が財政難であることを受け、条件によっては補償金無しで線外償還を可能とする特例制度である。本市の一般会計、下水道会計等の借入れの合算額は50億円あり、金利を年に13億円も支払っている。この改善のために本制度を導入

この制度は、平成19年度から21年度までの3か年のみの制度である。平成19年度から23年度までの財政健全化計画を策定し、職員数や人件費、物件費の削減に関する事項等を盛り込み、それを着実に実行することを条件に、補償金を免除したうえで、線外償還や借り換えが認められる。財政状況の厳しい本市

この制度は、平成19年度から21年度までの3か年のみの制度である。平成19年度から23年度までの財政健全化計画を策定し、職員数や人件費、物件費の削減に関する事項等を盛り込み、それを着実に実行することを条件に、補償金を免除したうえで、線外償還や借り換えが認められる。財政状況の厳しい本市

この制度は、平成19年度から21年度までの3か年のみの制度である。平成19年度から23年度までの財政健全化計画を策定し、職員数や人件費、物件費の削減に関する事項等を盛り込み、それを着実に実行することを条件に、補償金を免除したうえで、線外償還や借り換えが認められる。財政状況の厳しい本市

この制度は、平成19年度から21年度までの3か年のみの制度である。平成19年度から23年度までの財政健全化計画を策定し、職員数や人件費、物件費の削減に関する事項等を盛り込み、それを着実に実行することを条件に、補償金を免除したうえで、線外償還や借り換えが認められる。財政状況の厳しい本市

この制度は、平成19年度から21年度までの3か年のみの制度である。平成19年度から23年度までの財政健全化計画を策定し、職員数や人件費、物件費の削減に関する事項等を盛り込み、それを着実に実行することを条件に、補償金を免除したうえで、線外償還や借り換えが認められる。財政状況の厳しい本市

みなとまち木更津の再生に向けては、築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

みなとまち木更津の再生に向けては、築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

みなとまち木更津の再生に向けては、築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

みなとまち木更津の再生に向けては、築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

みなとまち木更津の再生に向けては、築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

みなとまち木更津の再生に向けては、築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

みなとまち木更津の再生に向けては、築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな

築地地区へのイオンをはじめとする民間開発事業が進んでいるが、南房総地域を訪れる観光客も帰り道にショッピングを楽しんでもらえるような魅力あふれる施設整備を期待している。6月議会では、イオン(株)が県に建築許可申請を行い、審査中との答弁があったが、開業予定時期が迫るな



整備が待たれる内港



木更津市役所

現在、みなと木更津再生構想推進協議会では、緊迫した財政状況にあっても、平成19年度に線外償還制度を利用しない意向であると聞いた。本制度は、5%以上の高利率のものに充当できるとのことだが、利用する場合のメリットを試算しているか

現在、みなと木更津再生構想推進協議会では、緊迫した財政状況にあっても、平成19年度に線外償還制度を利用しない意向であると聞いた。本制度は、5%以上の高利率のものに充当できるとのことだが、利用する場合のメリットを試算しているか

現在、みなと木更津再生構想推進協議会では、緊迫した財政状況にあっても、平成19年度に線外償還制度を利用しない意向であると聞いた。本制度は、5%以上の高利率のものに充当できるとのことだが、利用する場合のメリットを試算しているか

現在、みなと木更津再生構想推進協議会では、緊迫した財政状況にあっても、平成19年度に線外償還制度を利用しない意向であると聞いた。本制度は、5%以上の高利率のものに充当できるとのことだが、利用する場合のメリットを試算しているか

現在、みなと木更津再生構想推進協議会では、緊迫した財政状況にあっても、平成19年度に線外償還制度を利用しない意向であると聞いた。本制度は、5%以上の高利率のものに充当できるとのことだが、利用する場合のメリットを試算しているか

現在、みなと木更津再生構想推進協議会では、緊迫した財政状況にあっても、平成19年度に線外償還制度を利用しない意向であると聞いた。本制度は、5%以上の高利率のものに充当できるとのことだが、利用する場合のメリットを試算しているか

現在、みなと木更津再生構想推進協議会では、緊迫した財政状況にあっても、平成19年度に線外償還制度を利用しない意向であると聞いた。本制度は、5%以上の高利率のものに充当できるとのことだが、利用する場合のメリットを試算しているか



真舟地区のまちなみ

真舟地区の下水道計画は、昭和63年に都市計画決定されたが、いまだに事業認可を得るに至っていない。当

真舟地区の下水道計画は、昭和63年に都市計画決定されたが、いまだに事業認可を得るに至っていない。当

真舟地区の下水道計画は、昭和63年に都市計画決定されたが、いまだに事業認可を得るに至っていない。当

真舟地区の下水道計画は、昭和63年に都市計画決定されたが、いまだに事業認可を得るに至っていない。当

真舟地区の下水道計画は、昭和63年に都市計画決定されたが、いまだに事業認可を得るに至っていない。当

真舟地区の下水道計画は、昭和63年に都市計画決定されたが、いまだに事業認可を得るに至っていない。当

真舟地区の下水道計画は、昭和63年に都市計画決定されたが、いまだに事業認可を得るに至っていない。当

公明党代表 西 勝義 議員
市民にやさしい街づくり
市民の誇れる街づくり

新栄会代表 橋口 武信 議員

市長の政治姿勢について

福祉行政について
教育行政について

問 市長は、公約の1つに教育都市さらさらの実現を挙げている。今年度の教育予算は、前年度比43.4%、12億円以上も増加して、小中学校の耐震診断、耐震対策、中学校給食の拡大、ALT(外国人英語指導助手)職員や読書相談員の増加等、学校教育や社会教育の充実を注いでいる。次期総合プランや来年度の予算編成等にも関係する、今後の教育都市づくりの構想を伺いたい

答 産業振興や定住促進を図るためにも魅力ある教育環境の整備強化が必要と判断し、教育都市さらさらづくりをまちづくりの柱の1つに据え、学校教育や社会教育の質を高めるための施策を推進している。具体的には、本市独自の算数数学検定事業

國吉 俊夫 議員

教育改革、その他構造改革特区について

危機管理について
商工業振興事業について

問 全国各地域の学校では、画一的な教育ではなく、創意工夫に富んだ、多様な素晴らしい教育システムを展開しているところがある。教育特区として、東京都品川区の教育改革「プラン21」、北海道稚内市の「小中一貫教育事業」、群馬県太田市の「英語教育特区で地域と世界を結ぶ教育改革」等、教育のあり方についての提案が各地

に盛り上がってきている。本市では教育特区について研究しているか
答 本市では「教育都市さらさら」を実現するため、児童生徒の学力向上を目指した市独自の算数数学検定や読書相談員の配置、家庭・地域との連携を目指した学校支援ボランティア活動等の事業に取り組んでいる。現時点で、特区への申請は



千葉国体キャラクター「チーバくん」

ムページ開設等、IT機能の強化を図るとともに、市民の要求に対応したサービス向上と図書の実施にも力を入れている。

をはじめ、特別支援教育が必要な児童生徒へのきめ細かな対応を図るスクールサポートティーチャー配置や、読書活動充実に向けた全小学校への読書相談員配置を進めている。また、市立図書館のホー

さらに生涯スポーツ社会の実現に向けた総合型地域スポーツクラブを支援するとともに、「ゆめ半島千葉国体」に向けて組織体制の充実を図っていききたい。また、今年度から市立学校の耐震改修工事に着手し、木更津第一小学校の改築と給食センターの整備事業と併せ、計画的な推進を図っていききたい。



算数数学検定の試験風景

生から7年生が「基礎・基本を徹底し、学力の定着と能力を引き出す習熟度別学習の充実」、8年生から9年生が「自学自習を重視」という小中一貫教育(施設一体型)を検討する考えはあるか
答 中1での不登校やいじめが急増する、いわゆる中1ギャップの問題もあり、検討に値する重要な課題と認識するが、現在の施設、現行法の範囲内で、中学校教師による小学校での出前授業や小中交流集会等の取り組みを充実させていきたい。

品川区の公立学校における、1年生から4年生が「読み・書き・計算の習得」、5年

佐藤 多美男 議員

山砂運搬ダンプの通行対策

本市行財政運営について
介護認定者への障害者控除普及対策
矢那地先、あけぼの団地の道路整備について

問 羽田への山砂運搬ダンプカーに関して、住民からは、排ガス、騒音、振動への改善要望や、運搬ルート以外への進入や交通ルールが守られていない等の苦情が寄せられている。国道16号桜井交差点から臨港道路にはダンプが連なっており、騒音、振動、大気汚染は基準をはるかに超えているのではないかと、通行台数やルート変更の状況

を伺いたい
答 9月から本格的な山砂運搬計画が実施されている。計画では、館山道や圏央道の活用が認められ、運搬台数の約7割が高速道路を通行することになった。また三中前や市役所前を通行しないことや、事故、渋滞等により道路通行が麻痺した場合以外は、馬来田駅前の国道410号、アカデミアパーク内の君津平

斉藤 高根 議員

農業政策について 漁業政策 フードマイレージ

問 今夏、カイヤドリウミグモによりアサリが大被害を受けた。各漁業協同組合は、漁業問題が起きた時、県水産研究センターに対策を仰ぐのが慣例となっている。市には水産技術員が一人もいないため、情報が遅れることもあるのではないかと、市は、ウミグモ問題に関し、県設置の緊急対策委員会委員として会議に出席したり

県漁連主催の対策会議に出席する等、解決策を模索している。引き続き、県や県漁連等、関係機関と協力し、情報収集をしながら、現職員の育成向上に努めるとともに、一日も早い事態解決に向けた対応をしていく。
問 小櫃川は、雨が降ると上流から河川水とともに草木が大量に東京湾に流れ出る。昨



高速道路を利用するダンプカー

境保全対策はどうか
答 一部ダンプカーに対する苦情が寄せられており、国や羽田空港山砂相談窓口へ指導、改善等の強い申し入れをするも、まだ十分なため、ルール違反者への運搬業務出入り禁止等の強い措置を要請している。

また貝淵で実施中の調査結果によれば、騒音、振動は要請限度を下回っている。降下ばいじんは増加傾向にあるが、今後、高速道路使用による交通量削減で影響が少なくなると考える。



小櫃川河川に流れ出た流木

雨による小櫃川からの流木等の流出で、海苔養殖に被害があったことから、平成14年5月に小櫃川河口域の漁場環境悪化の処理に関する要望書が提出された。この要望を受けて、平成14年以降に県が君津地域4市と「君津地域河川環境対策協議会」を組織し、河川環境改善をテーマに例年会議を開いている。昨年の大雨に関連した相談や被害の申し出は受けていないが、被害等が生じた場合は、市から河川管理者の県に対し、要望していき

高橋 てる子 議員

行財政改革について アクアライン高速バスについて

問 アクアライン高速バス運賃は、距離と高速料金で設定されている。高速料金値下げの社会的な実験も始まり、ETC搭載車に関しては更なる値下げが続いているなか、高速バス運賃の見直しが可能と思うが、値下げについてどのように考えるか

答 高速バスの通行料金は当初6600円だったが、料金プール



高速バス乗り場(木更津駅東口)

制導入や社会実験等により通行料金が引き下げられ、現在、ETC割引の適用で3830円となっている。平成12年に通行料金が4950円に値下がりしたことに伴い、高速バス運賃が各100円値下げされた。アクアラインの通行料金については、今回の社会実験において、料金値下げの効果を確認された場合には、高速バスの運賃を値下げすることは可能ではないか。また、市民の利便性の向上や定住促進の観点からも市としては、あつてし

るものと考えているが、その際には、高速バスの運賃を見直すよう、バス事業者に働きかけていきたい。

問 木更津駅西口や金田バスターミナルへのチケット自動券券機の設置はできないか

答 現在、チケットは木更津駅の東口、西口で窓口販売している。バス事業者によると、管理面の問題があり、現状での券券機設置は難しいとのこと。また金田では、将来、総合ターミナルが整備される場合には、設置が考えられるのではないかと

大野 俊幸 議員

快適で住みよい環境づくり 都市環境の充実

問 吾妻地区の市街化調整区域は、木更津駅の徒歩圏内にあり、利便性も高い。以前から既存宅地制度を利用し、また市街化区域に隣接し、条例では開発許可が不要となることから、住宅建設が一層進み、インフラ整備が不十分な状況で市街化を形成している。同地区の土地利用計画や将来的な方針について検討をしているか



市街化調整区域への住宅建設が増加する吾妻地区

答 千葉県が定める要領で、市街化区域編入には、人口密度がヘクター当たり40人を下回らないことや編入区域の大きさ等が定められている。吾妻地区の市街化調整区域は、市の都市計画マスタープランで、市街化の熟度に応じ、面的な都市基盤整備を検討する地区となっており、平成18年度に市街化区域への編入を検討したが、

県の見直し要領の編入基準に該当しなかった。今後、要件を満たした時点で、関係者の意見を聞き検討したい。

問 インターチェンジ周辺は広域交通網の拠点として、観光、流通業等による土地利用

を検討することとしている。市街化調整区域での地区計画は、具体的な事業計画内容について千葉県の同意が必要だが、開発行為や建築行為の適切な規制、誘導に有効な手段と認識している。

平成18年度決算認定について

議会最終日に、平成18年度の本市決算について、決算審査特別委員会の審査報告を受け審議した結果、一般会計及び特別会計の平成18年度木更津市歳入歳出決算並びに水道事業会計の平成18年度木更津市水道事業決算を、賛成者多数をもって認定しました。

決算審査特別委員会

では、9月18日から20日までの3日間にわたって、本会議で付託された決算の認定に関する議案第60号及び議案第70号について審査しました。

第1日目・18日の午前中に現地調査を行い、午後から3日目・20日まで書類審査を実施し、406点に及ぶ疑念を

行い、執行部の説明を求めるとともに、事務事業に関する改善などの要望を行いました。

審査の結果、三位一体改革の影響により、依然厳しい財政運営が続く中、一般会計や特別会計では、小中学校の耐震化対策や中学校給食の拡大、少子高齢化に伴う各種対策、木更津港再生に向けた取り組み、また持ち家奨励事業や健康増進センター施設整備、乳幼児医療費助成事業の拡大など、収支バランスに配慮しながら、予算が効率的・効果的に執行され、また水道事業会計においても、支出の抑制に努めており、いずれの議案も、全会一致をもって決算を認定することと決しました。

特別委員会委員	委員長	副委員長
高橋 浩	白坂 英義	岡田 貴志
篠崎 哲也	高橋 てる子	荻野 一男
大野 俊幸	後藤 秀	三上 和俊



一般質問と答弁などを ケーブルテレビ・FMラジオで放送

本会議での一般質問の様子を、質問当日の夜などに、ケーブルテレビとFMラジオで放送しています。

内容 / 1回目の質問と答弁(1議員30分)
放送 / JCOM木更津(2ch)・木更津エフエム(83.4MHz)
時間 / 定例会ごとに異なります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

傍聴者の状況

区分	7~9月計	19年累計
本会議	122人	320人
委員会	6人	10人
合計	128人	330人

委員会の動き(8月~10月)

- 総務常任委員会
 - 9/13 付託案件審査(議案1件)
 - 10/17~19 行政視察 高知県高知市・愛媛県今治市)
- 経済環境常任委員会
 - 9/13 付託案件審査(議案1件)
 - 10/24~26 行政視察 北海道紋別市・北海道北見市)
- 教育民生常任委員会
 - 9/14 付託案件審査(議案6件・陳情1件)
 - 10/24~26 行政視察 福島県会津若松市・岩手県盛岡市)
- 建設常任委員会
 - 9/14 付託案件審査(議案5件)
 - 10/23~25 行政視察 青森県八戸市・青森県十和田市)
- 議会運営委員会
 - 8/28 9月定例会議事運営について
- 基地対策特別委員会
 - 9/4 飛行場周辺における財産の利活用について/陸上自衛隊木更津駐屯地の格納庫整備について
- 合併調査特別委員会
 - 9/4 千葉県市町村合併推進構想について
 - 9/28 活動方針について ほか
- 決算審査特別委員会
 - 9/18~20 付託案件審査(議案2件)

議案等の内容及び議決結果

市長提出議案

議案第54号『平成19年度木更津市一般会計補正予算(第3号)』、議案第55号『平成19年度木更津市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)』、議案第56号『平成19年度木更津市老人保健特別会計補正予算(第1号)』、議案第57号『平成19年度木更津市介護保険特別会計補正予算(第1号)』、議案第58号『平成19年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)』、議案第59号『平成19年度木更津市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)』

平成19年度予算額一覧表

(単位:千円)

Table with 4 columns: 会計名, 補正前の額, 補正額, 議決後の額. Rows include 一般会計, 特別会計, 水道事業会計, 合計.

と水道事業会計の平成18年度決算について、議会の認定を受けようとするものです。

原案認定 賛成多数 議案第61号『木更津市教育委員会委員の任命について』

原案同意 全会一致 議案第62号『木更津市公平委員会委員の選任について』

原案可決 賛成多数 議案第60号『平成18年度木更津市歳入歳出決算の認定について』

原案同意 全会一致 議案第63号『木更津市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例の制定について』

原案可決 全会一致 議案第64号『手数料条例の一部を改正する条例の制定について』

原案可決 全会一致 議案第65号『木更津市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について』

原案可決 全会一致 議案第66号『木更津市精神障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について』

原案可決 全会一致 議案第67号『木更津市の市街地調整区域における開発行為等の基準に関する条例及び木更津市公共下水道の事業認可区域外から公共下水道への流入に関する条例の一部を改正する条例の制定について』

原案可決 全会一致 議案第68号『市道路線の認定について』

原案可決 全会一致 議案第69号『木更津市土地開発公社定款の変更について』

原案可決 全会一致 議案第70号『平成18年度木更津市水道事業決算の認定について』

原案可決 全会一致 議案第71号『平成18年度木更津市一般会計補正予算(第3号)』

原案可決 全会一致 議案第72号『平成18年度木更津市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)』

原案可決 全会一致 議案第73号『平成18年度木更津市老人保健特別会計補正予算(第1号)』

原案可決 全会一致 議案第74号『平成18年度木更津市介護保険特別会計補正予算(第1号)』

原案可決 全会一致 議案第75号『平成18年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)』

原案可決 全会一致 議案第76号『平成18年度木更津市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)』

原案可決 全会一致 議案第77号『平成18年度木更津市一般会計補正予算(第3号)』

議員発議案

議案第69号『木更津市土地開発公社定款の変更について』

原案可決 全会一致

東京湾アクアラインの利用促進を図るため、本年度中に通行料金の値下げを要請する意見書

陳情 陳情第5号『後期高齢者医療制度を抜本的に見直すよう国への意見書採択を求める陳情書』

原案可決 全会一致

原案可決 全会一致

原案可決 全会一致

原案可決 全会一致

不採択 賛成少数

議員全員協議会で報告された事項

全員協議会は、法令等で決められた会議ではありませんが、事実上、全議員が議場に集合して開かれる会議です。市政に関する重要な事件や市議会内部の処理事項等についての協議、報告等が行われます。

9月28日

- 平成20年度予算編成方針について
「調整手当の返還及び支給差止請求事件」の判決確定について
「調整手当返還等請求事件」について
木更津市行政経営アドバンスプランの平成18年度取組状況及び見直しについて
羽田再拡張事業に伴う山砂運搬等について
木更津市制施行65周年記念事業の概要について

意見書の提出について

今定例会で議員より提案され可決された発議案に基づき、意見書を国土交通大臣に提出しました。

東京湾アクアラインでの本年度中にもう一段の大幅な値下げによる社会実験を行うことを要請する意見書(抜粋)

国土交通省では、昨年12月に閣議決定された「道路特定財源の見直しに関する具体策」において、「国民の要望の強い高速道路料金の引き下げなどによる既存高速道路ネットワークの効率的・機能強化のための新たな措置を講じる」としてあり、東京湾アクアラインでの環状道路の料金割引社会実験が、8月20日から普通車最大引き下げ1500円で開始されたところである。

しかし東京湾アクアラインの社会実験では、これまで実施してきたような中途半端な値下げでの実験ではなく、対象車両を全車両とし、普通車800円、大型車2000円での実験を行うことが、本当に東京湾の環状線が活かされ、渋滞緩和、環境阻害物質の削減等の効果が証明されることとなり、恒久的な値下げにつながっていくものと確信している。

よって、東京湾アクアラインの利用促進を図るため、本年度中に通行料金のもう一段の大幅な値下げでの社会実験を実現されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。平成19年9月28日

千葉県木更津市議会議員

次の定例会は、11月30日(金)から開催される予定です。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください

- 声の議会だよりについて
視覚障害者を対象に市議会だよりを録音したテープを貸し出しています。申し込みは議会事務局へ。
会議録の閲覧について
平成19年9月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで平成19年12月初旬頃から閲覧することができます。
インターネットによる会議録の検索・閲覧について
市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。

URL http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/ (平成19年9月会議録【HP版】は12月初旬公開の予定です。)